Vaadin資料

Vaadin資料

Vaadinのコンポーネント(一部)

レイアウトコンポーネント(Layouts)

データ入力コンポーネント(Data Entry)

データ表示・インタラクションコンポーネント(Visualization & Interaction)

標準HTMLコンポーネント

Vaadinのコンポーネントの機能

リスナー

ページの作成方法

Vaadinのコンポーネント(一部)

詳しくはこのリンクで調べてください。

https://vaadin.com/docs/latest/components

レイアウトコンポーネント(Layouts)

VerticalLayout

レイアウトのコンポーネント 縦並びにしたいときにこれを使う。

var verticalLayout = new VerticalLayout();

HorizontalLayout

レイアウトのコンポーネント 横並びにしたいときにこれを使う。

var horizontalLayout = new HorizontalLayout();

FormLayout

レイアウトのコンポーネント フォームのレイアウトはこれでやるといいかも

データ入力コンポーネント(Data Entry)

TextField · MailField · PasswordField

入力のためのコンポーネント

パスワードの入力はパスワードフィールド、メールアドレスの入力はメールフィールド、それ以外はテキストフィールドで大丈夫だと思う。

CheckBox

チェックボックスのコンポーネント

チェックボックス・ラジオボタンなど複数の要素を含むものは、大体~~Boxというクラスがあり、それで管理します。

```
var checkboxGroup = new CheckboxGroup<>();
checkboxGroup.setItems("A", "B", "C", "D", "E", "F", "G", "H");
var checkbox = new Checkbox( labelText: "a");
checkboxGroup.add(checkbox);
add(checkboxGroup);
```



データ表示・インタラクションコンポーネント(Visualization & Interaction)

Button

ボタンのためのコンポーネント addClickListenerメソッドのリスナーでクリックに対しての操作を記述可能

Grid

グリッド表示のためのコンポーネント

標準HTMLコンポーネント

https://vaadin.com/docs/latest/flow/create-ui/standard-html

H1~H6

H1~H6タグに対応するコンポーネント

Paragraph

pタグに対応するコンポーネント

Anchor

aタグに対応するコンポーネント

Element APIを使用すると、HtmlContainerを使用して任意の標準HTML要素を作成できます

例

```
HtmlContainer input = new HtmlContainer( tagName: "input");
```

他にもHtmlクラスを用いれば、文字列でHTMLを書くことも可能です。

```
Html html = new Html( outerHtml: "pタグの作成");
```

Vaadinのコンポーネントの機能

Vaadinのコンポーネントはadd(Component... components)といったメソッドを持っており、これを使用してコンポーネントを追加できます。

また、コンポーネントのset~~のメソッドでHTMLの属性やCSSを変えることができます。

コンポーネントのメソッドにないCSSを変えたいときは、下記のようにスタイルにセットします。

```
toHorizontalButton.getStyle().setBorder("3px solid #000");
```

```
toHorizontalButton.getStyle().set("border", "3px solid #000");
```

※どちらも同じ操作になります。

イベントハンドリング

コンポーネントは対応するリスナーを持っていて、それの処理をラムダ式・無名関数などで記述可能です。

※ 今回の処理は、ボタンをクリックすると他のページに遷移する処理になっています。

また、引数として受け取ったイベントはイベントごとに必要な情報を保持してくれています。

```
password.addValueChangeListener(valueChangeEvent -> {
   valueChangeEvent.getValue();
   valueChangeEvent.getOldValue();
});
```

valueChangeEventの場合、今の値と変わる前の値などを保持してくれる。

ページの作成方法

Vaadinのページを作るには、下記のようにVaadinのコンポーネントを継承して、それにRouteアノテーションをつければ、作ることができます。

```
package com.example.demo.layout;
import com.vaadin.flow.component.html.Anchor;
import com.vaadin.flow.component.orderedlayout.VerticalLayout;
import com.vaadin.flow.router.PageTitle;
import com.vaadin.flow.router.Route;

@@ageTitle("Home")
@Route("")
public class HomeLayout extends VerticalLayout {
    public HomeLayout() {
        var layoutName = new H1( text: "HomeLayout");
        var toHorizontal = new Anchor( href: "horizontal", text: "horizontal");
        var toVertical = new Anchor( href: "vertical", text: "vertical");
        add(layoutName, toHorizontal, toVertical);
    }
}
```

※ PageTitleアノテーションはページを作るために必須ではないです。

HomeLayout

horizontal

vertical

次のようにH1などの大見出しでページを作ることもできますが、レイアウトコンポーネントの VerticalLayout、HorizontalLayoutを使った方が良いと思います。

```
@PageTitle("Home")
@Route("")
public class HomeLayout extends H1 {
    public HomeLayout() {
        var layoutName = new H1( text: "HomeLayout");
        var toHorizontal = new Anchor( href: "horizontal", text: "horizontal");
        var toVertical = new Anchor( href: "vertical", text: "vertical");
        add(layoutName, toHorizontal, toVertical);
    }
}
```

HomeLayout horizontalvertical

ログイン機能

読んでください。

https://vaadin.com/docs/latest/flow/security/enabling-security